

SELF HELP GROUP

Wendy²¹

ウエンディ21は障害のある人の社会参加を支援するグループです。

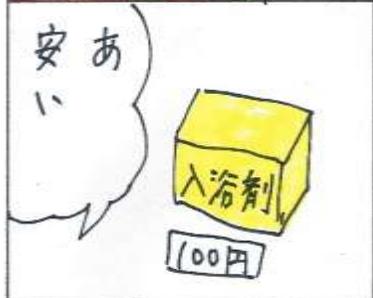


2014/6/27 梅雨本番中@ウエンディ本部

2014-7 VOL.88

タイトル バザール

タイトル 星



平成十年

カーディガン 一枚残し

梅雨支度

松本聡子 (著書、

「噴水の虹」より)



ちゃんとのもう、薬はこころの お守りだ 作 中西克徳

はじめまして、6月よりお世話になります看護師の吉田礼子です。利用者さんの中に同姓の方がいらっしゃるとの事で「礼子さん」と呼ばれる事となりましたので（実は面接時米島さんに命名されました!）どうぞ皆さん気軽に♪声掛け下さい。...といっても普通のどこにでもいるおばちゃんなんですが（笑）家族構成は夫婦と男子三兄弟（どの子もてごわい!）の5人。昨年から上2人は学生で各々一人暮らしの為、現在は高校生の三男と三人暮らしです。以前5人の時は本当に毎日忙しく朝4:30起床仕事に家事、学校行事、部活参加等々...（それでもやせなかった私!?!）各々子ども達が一人だちする、その日まで、母は頑張ります! ウェンディはフリースペースなので、皆さんの健康チェック、サポートは勿論のこと、相談相手もさせていただきますが一番に空気のようにさりげなく、邪魔にならないよう、しかし異変には、敏感に適切に対応させていきたいと考えておりますので、これから、どうぞ宜しくお願い致します。

吉田礼子

ピア・カウンセリング 北九州市から委託を受けてピア・カウンセリング事業を行っています。ピア・カウンセリングとは同じ障害を持つ仲間どうしで情報を提供しあったり体験を共有し勇気づけたり問題を解決する手助けするものです。平日の11:00から15:00までの最長2時間、月に5回まで無料で受ける事が出来ます。時間外や訪問も場合によっては、ご自宅、喫茶店、病院等ご自由な時間帯にやります、当事者だけでなくご家族のカウンセリングも行っております。よろしく願い申し上げます。

病気がくれた出会い

羽季田 のぼる

うその電報で福岡県の新田原に帰ったのでした。

——春桃の花に、ちようが羽を休めているその村でなぜかM祖父は、知つても教会を知らないふりをして、四、五人の娘達に、たずねました。

あの、すみません。新田原の教会はどこですかあ。」

すると、

「はい。知つてますよー?」

と、真つ光に来たのが、母方の祖母だったのです。母方のM祖父は子供の頃、ケンカは、三人、相手にせな、面白くなかつた、と、話してました。けれども、ついに、母方のM祖父にも、赤紙が来たのです。そして、宮崎県へ——朝は、起床ラッパで、

起きようよ、起きようよ、みんな、起きようよ」起きないと、大将さんに叱られるー?」

起床ー?」

眠る時は、

「軍隊さんは、かあーわいそうだ、ねー?。また寝て泣くのかよー?」の就床ラッパ。（までは、わゆんけんん?と言う。）が静かに響きます。けれど、夜にぞり、

「脱走兵が出たぞー?草の根分けても捜し出せー?」

それは、大変だつたなあ。」

と、語つていたM祖父の目は輝いていました。そのM祖父に、父がたずねたのです。

どうでしょう。」

「石ー?貴之...。少し弱い名前やな。」

でも、實は尊い、之は、目的地向かつて行く」私は、良い、と思うんです。」

「まあ、あんたが、そままで言うんやたら、それで良いんやないか。」父は、(よし、この子の為を命を捧げよう。)と、決意したのでした。

つづく

けんち★です♪(編集後記) ようや父の49回(入仏式)を終えて、無事仏壇になれた事を家族でお祝いしました♪100回日がくるまで、私は父の魂と共に仕事も家庭も職場も明るく過ごせるように工夫していきたいと思っています♪せつが頃の命と時間ですから明るく(楽しく)過ごしたいと思ひます♪その環境作りには励みます。



<http://www.wendy21.jp>

発行 平成 26年 6月 27日 NPO法人 ウェンディ
地域活動支援センター ウェンディ本部
〒800-0043 北九州市門司区緑ヶ丘 10番 19号
Tel : 093-383-3169 Fax : 093-391-2167 <mailto:wendy21@f2.dion.ne.jp>